

自然科学系図書館学生用資料選定基準

1. 基本方針

自然科学系図書館における学生用資料の選定は、原則としてこの基準による。

- 1) 資料の内容・レベルは、学部学生から大学院生の学習に必要なものとする。
- 2) 資料の形態は、図書のほか、電子的な形態（ビデオ、CD-ROM、DVD等）の資料も対象とする。
- 3) 資料の言語は、学部生対象資料については主として日本語のものとする。大学院生対象資料については、特に制限は設けない。

2. 資料区分別選定基準

資料の区分ごとの選定基準は、以下のとおりとする。

- 1) 専門教育図書
学部、大学院専門教育の授業に関連する図書は可能な限り選定する。特にシラバスに掲載されている図書は網羅的に選定する。
- 2) 参考図書
専門教育用参考図書、基本参考図書を問わず可能な限り選定する。
- 3) 国内雑誌
 - ・自然科学分野全般を包括する総合雑誌及び啓蒙雑誌を幅広く選定する。
 - ・自然科学の個別分野の基本的な専門雑誌及び啓蒙雑誌を選択的に選定する。
- 4) 外国雑誌
自然科学全分野を包括する総合雑誌及び啓蒙雑誌を選定する。
- 5) その他
 - ・学生希望図書は、この基準の範囲で可能な限り選定する。
 - ・学生用として、教員から推薦のあった図書は優先的に選定する。
 - ・本学の自然科学系分野研究者の著作物は優先的に選定する。

3. 選定作業

- ・選定にあたっては、出版社・取次ぎ・書店等の出版情報及び各種書評を参考とする。
- ・選定に当たっては、原則として自然科学系図書館蔵書との重複をさける。
- ・著しく高額な資料、及び廉価な資料の選定は慎重に行う。
- ・雑誌、継続図書など、継続的に刊行される資料の選定は慎重に行い、定期的に見直しを行う。
- ・選定作業は、自然科学系図書館職員が行う。

4. この基準は平成17年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。